

**第 168 回 ( 2012 年 7 月 8 日実施 ) 全経簿記検定試験**  
**上級出題予想 【商業簿記・会计学】**

科目	第1予想	第2予想	第3予想
商業簿記	損益・決算残高	連結財務諸表	残高試算表
	仕訳(デリバティブ取引)	(社債・新株予約権)	仕訳(ソフトウェア)
会计学	理論・計算 (会計上の変更と誤謬の訂正)	理論 (連結包括利益計算書)	理論 (引当金)
	計算 財務分析	理論・計算理論 収益認識基準 特殊商品販売・工事契約	理論・計算理論 有価証券
	計算 外貨換算会計	計算 キャッシュ・フロー計算書	計算 社債

**なぜこう予想したのか**

全経上級の試験で出題されている論点は、試験を実施している全国経理教育協会から発行されている全経上級公式テキストに記載されている論点からほぼ出題されています。そのため、今回は上記の論点を予想としました。

**【商業簿記】**

第1予想は、過去10回中6回出題された出題頻度の高い「損益・決算残高」をあげました。

さらにその中の内容として、出題頻度の高い「**その他有価証券**」、「**自己株式**」、「**税効果**」、「**外貨建取引**」などは注目しておきましょう。

第2予想は、165回の仕訳問題で問われた「連結会計」をあげました。総合問題では161回の出題から暫く出ていないので、確認しておく必要があるでしょう。

第3予想は、165回にも出題された「残高試算表」をあげました。財務諸表が前回出題されたことから帳簿を意識した総合問題を予想しております。さらに今回担当されると思われる試験委員が作成した問題から考えると、総合問題以外に**仕訳問題**が問われていますので注意しておきましょう。

**【会计学】**

改正論点である「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準」と「財務分析」を第1予想としました。全経上級独特の論点であるので過去問を中心に対応しておきましょう。

理論と計算の両方を問う事が多いので「収益認識」を第2予想、「有価証券」を第3予想としました。なお、第1問の正誤問題については、**同様の論点が繰り返し出題**されている場合もありますので、過去問を解くことが最適な試験対策となってきます。

今回も、理論問題・計算問題という枠組みを外し、全体的に注意しておくべき論点を列挙する形で予想を立てておりますので参考にいただければと思っています。

**第 168 回 (2012 年 7 月 8 日実施) 全経簿記検定試験**  
**上級出題予想 【工業簿記・原価計算】**

科目	第1予想	第2予想	第3予想
工業簿記	・配合差異と歩留差異 (または標準原価計算 の仕損の処理)	・部門別個別原価計算 (総合問題)	・単純総合原価計算 (度外視法と非度外視法、 追加材料の処理など)
	・差異の追加配賦	・材料勘定の記入	・本社工場会計
原価計算	・セグメント別損益計算 (ROIとRI、CVP分析、経営 レバレッジ係数、内部振替 価格など)	・業務執行的意思決定 (自製か購入)	・設備投資の意思決定 (取替投資)
	・最適セールスマックス	・ライフサイクル・コストニング	・活動基準原価計算

**なぜこう予想したのか**

**〔工業簿記〕**

全経上級では、過去には部門別計算・総合原価計算・個別原価計算・標準原価計算などが万遍なく出題されています。しかしその中で最も頻出度の高いのは総合原価計算で、標準原価計算はあまり出ていません。そこで思い切って今回は**配合差異・歩留差異**を第1予想としました。次に第2予想には第162回を最後に出題されていない**部門個別原価計算の総合問題**を挙げました。

総合原価計算は単純総合、工程別計算、等級別、組別などが出題されています。そこで第3予想には**単純総合原価計算**を挙げています。総合原価計算では、度外視法・非度外視法のように、複数の計算方法がある場合、双方を比較させる問題が出題されますが、こうした問題に不慣れな方は過去問題等で十分に慣れておくようにしましょう。また、全経上級特有の出題論点である「**本社工場会計**」の内部利益の控除は知らないといけないものです。仕訳の流れも含めて、おさえておきましょう。

**〔原価計算〕**

原価計算は「直接原価計算」、「意思決定」、「戦略的原価計算」の3つの論点から出題されています。

特に「**CVP分析(直接原価計算)**」と「**構造的意決定(意思決定)**」は交互に出題されています。

以上の点を考慮し、167回には設備投資の意思決定が出ているため、直接原価計算の論点の1つである**セグメント別損益計算**を第1予想に挙げました。また最適セールスマックスはセグメント別損益計算の同一の資料から出題される可能性があります。

意思決定からは「業務執行的意思決定」を第2予想としました。また「設備投資の意思決定」は過去にも連続して出題されたことがあるため、予想順位は落としましたが第3予想に挙げました。

戦略的原価計算からは「ライフサイクル・コストニング」と「活動基準原価計算」をそれぞれあげていますので、**文章問題も考慮**にいれて確認しておきましょう。